

2010年6月24日

関係各位

総合電子工学専攻大学院ゼミナール

主任： 川口 雅之

世話人：越川 孝範

天候トラブルによる航空機の遅延のために延期しておりました大学院特別ゼミナールを下記のように開催いたします。

陣内先生は電子顕微鏡像を立体的に撮影する新しい手法を提案され世界的に高い評価を受け、大変活躍しておられる新進気鋭の研究者です。

開催日が、変更になっており通常のゼミナールの日程とは異なりますので間違わないようにご参加ください。

大学院生は必修ですので必ず出席してください。

記

1. 日時：2010年7月21日（水）午後5時から
2. 場所：J-515
3. 講師：陣内 浩司 准教授
(京都工芸繊維大学、生命物質科学域)
4. 題目：電子線トモグラフィ法の最近の開発と高分子材料への展開
5. 概要
電子線トモグラフィ法は、ナノメートルスケールの超微細構造を3次元的に観察する手法である。この手法は、2000年頃より急激に開発が進み最近ではかなり普及してきたが、定量性においてはまだまだ問題があるため「3次元イメージングツール」から「3次元計測ツール」への展開はなかなか難しい。本ゼミナールでは、電子線トモグラフィ法の計測ツールとしての問題とその解決法について概説する。また、本手法を高分子のナノ構造解析に適用した例についても紹介する予定である。

以上